



The 11th TRIZ Symposium in Japan 2015

Open up your Future with Creativity

開会にあたって

2015年9月3日

NPO法人日本TRIZ協会理事長

三原 祐治

日本TRIZシンポジウムの開催経緯

	主催	開催時期	開催場所	発表数	参加者
第1回	日本 TRIZ 協議会	2005年9月	ラフォーレ修善寺	20件	104名
第2回		2006年8月末	パナヒルズ大阪	34件	157名
第3回		2007年8月末	東芝研修センター	34件	204名
第4回	NPO法人 日本 TRIZ 協会	2008年 9月10日～12日	ラフォーレ琵琶湖 (滋賀県)	46件	180名
第5回		2009年9月 9月10日～12日	国立女性教育会館 (埼玉県)	42件	132名
第6回		2010年9月 9月9日～11日	神奈川工科大学 (神奈川県厚木市)	40件	165名
第7回		2011年9月 9月8日～10日	東芝研修センター (横浜市)	33件	115名
第8回		2012年9月 9月6日～8日	早稲田大学 (東京都新宿区)	37件	110名
第9回		2013年9月 9月5日～6日	統計数理研究所 (東京都立川市)	28件	126名
第10回		2014年9月 9月11日～12日	早稲田大学 (東京都新宿区)	30件	135名
第11回		2015年9月 9月3日～4日	オリンピック記念青少年センター (東京都渋谷区)	27件	()名

第11回TRIZシンポジウムの趣旨と企画

今回の主題：創造で築くあなたの未来のもとに

1) TRIZとその関連分野での

- ・初心者・中堅経験者へのチュートリアル場（1日目）
- ・適用・研究成果の発表・討論場（1～2日目）を提供し、技術レベルの向上と普及・推進・適用の仕方の向上に資する。

2) TRIZマスターによる基調講演（2日目）、およびTRIZ関連技法の特別講演（1日目）を企画。

3) TRIZ関係者の交流の場を提供し、TRIZコミュニティの発展に資する。

今回（第11回）シンポジウムの全体像

- 1) 一昨年 & 昨年にひき続き会期を2日間に圧縮
 - より参加しやすいように変更；この形態が定着
 - 初心者向けのチュートリアル
 - 一般講演は全てパラレルセッション
- 2) シンポジウムの主題（**創造で築くあなたの未来**）に沿った
基調講演・特別講演を設定<次ページのスライドを参照>
- 3) 各種団体の支援を更に拡大
 - 後援：日本知財学会、品質工学会
 - 協賛：応用統計学会、統計数理研究所リスク解析戦略研究センター、
独立行政法人統計センター、日刊工業新聞社、日本科学技術連盟、
日本設計工学会、日本創造学会、日本バリュー・エンジニアリング協会

第11回TRIZシンポジウム基調講演・特別講演

基調講演：

「技術におけるハイブリダイゼーション」

ワレーリー・プルシンスキー（TRIZマスター）

特別講演：

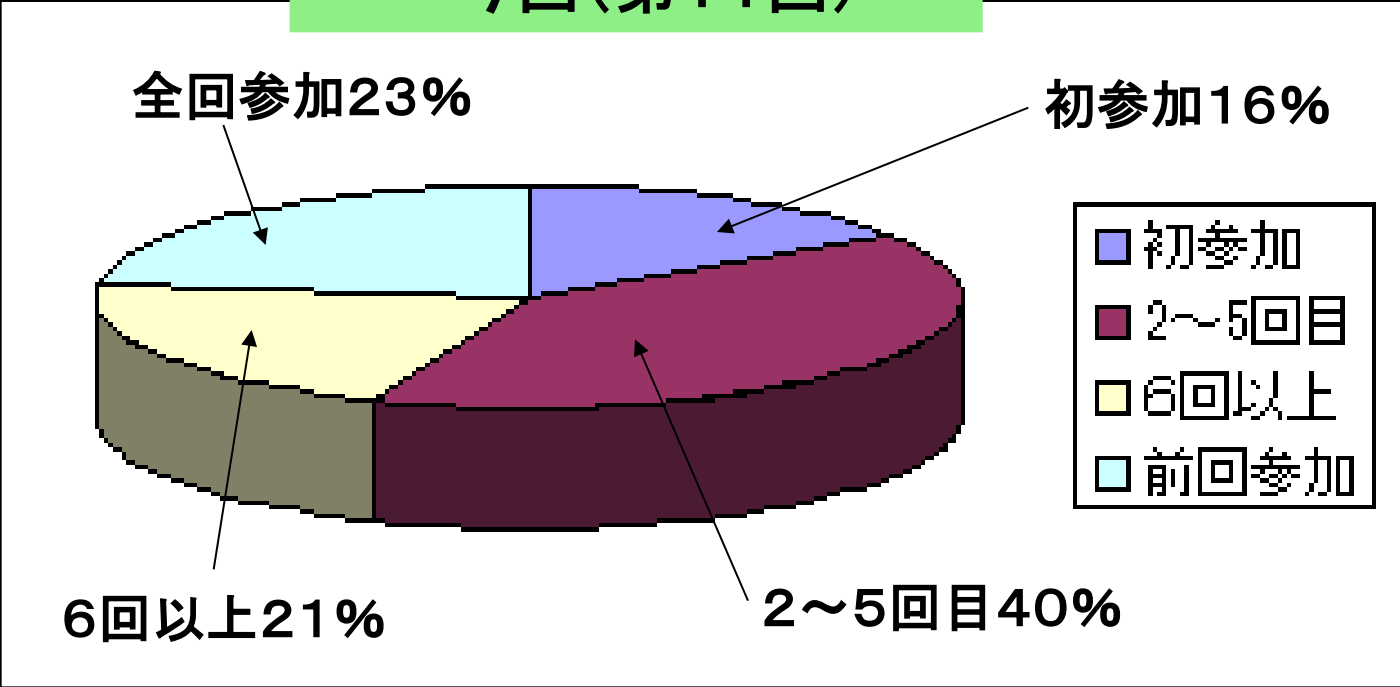
「全く新しい市場で話題を勝ち取る製品を企画するためのアプローチ」

福原 證（アイテムツーワン）

参加者のプロフィール

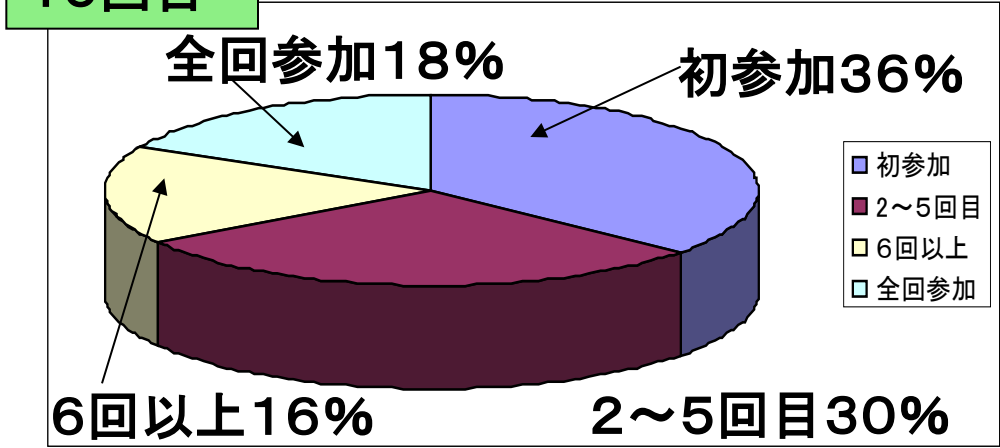
参加者の参加回数

今回(第11回)

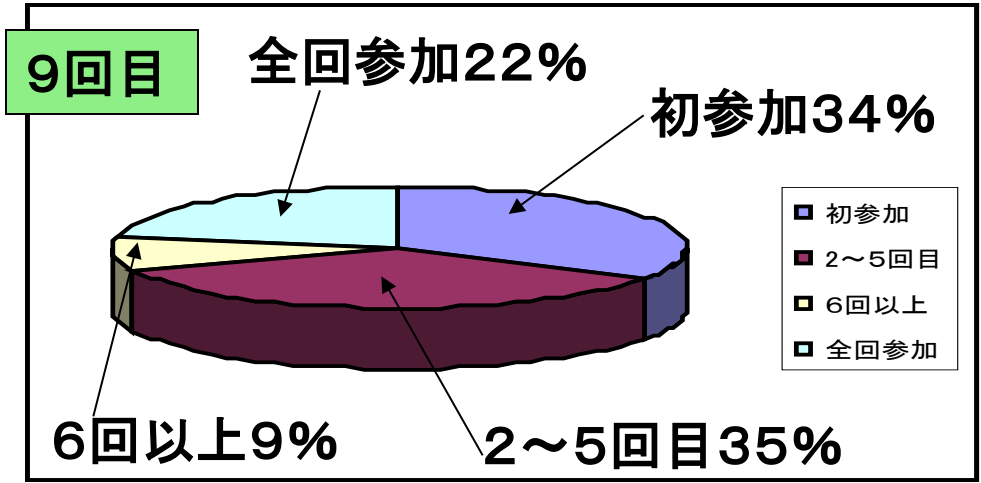


初参加者は今回やや減少し、2~4回目がやや増加。

10回目



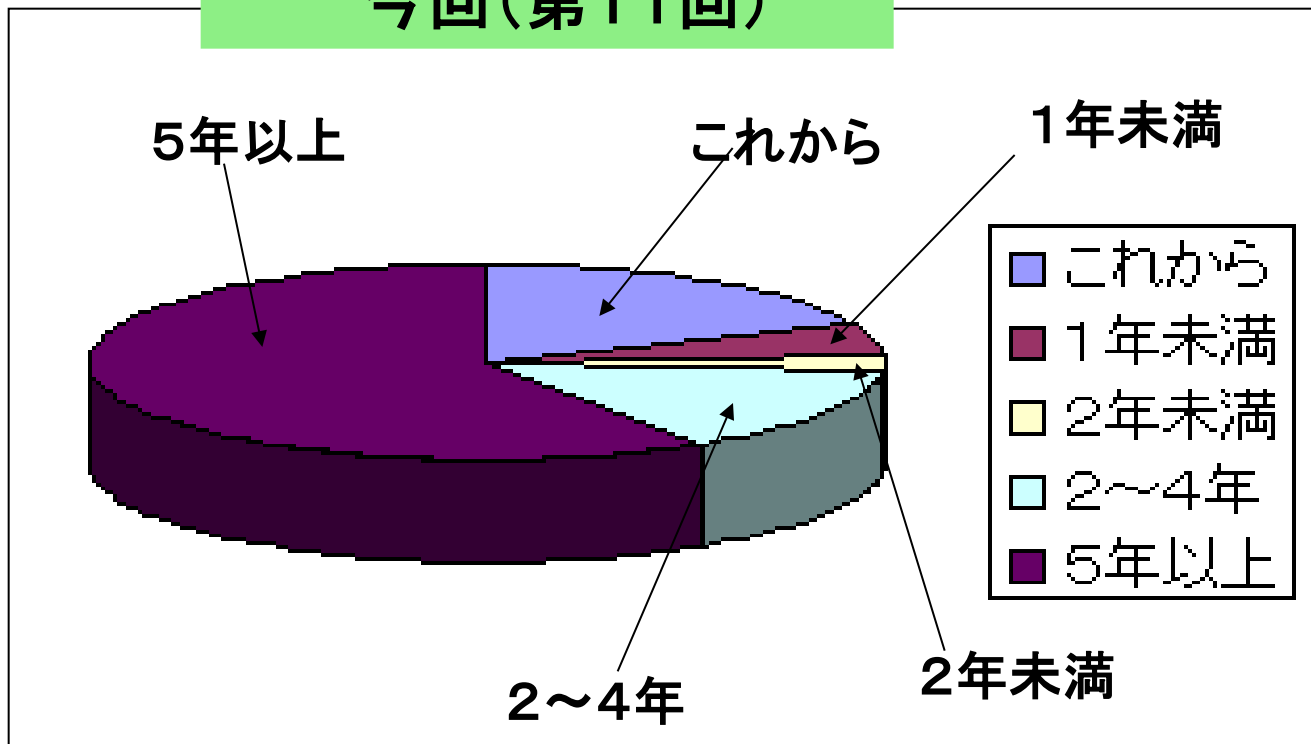
9回目



参加者のプロフィール

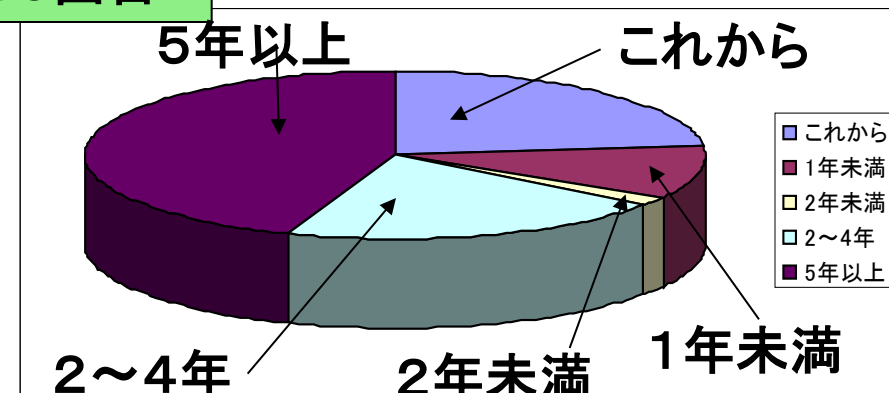
参加者のTRIZ経験年数

今回(第11回)

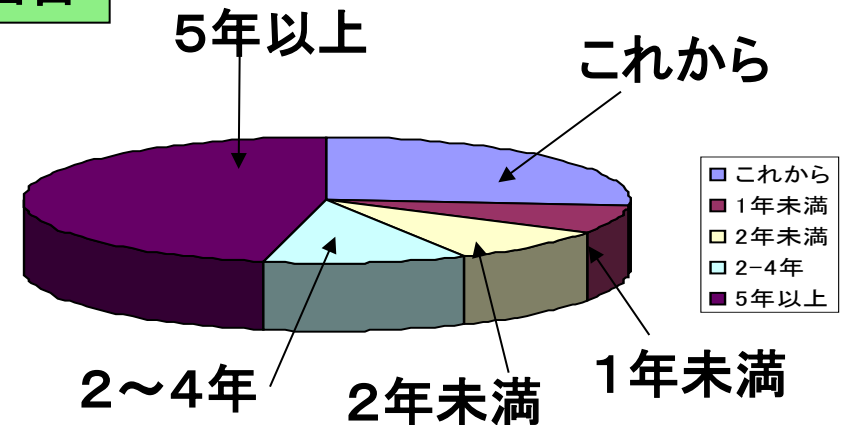


今回はTRIZ経験年数の多い方が増加。

10回目



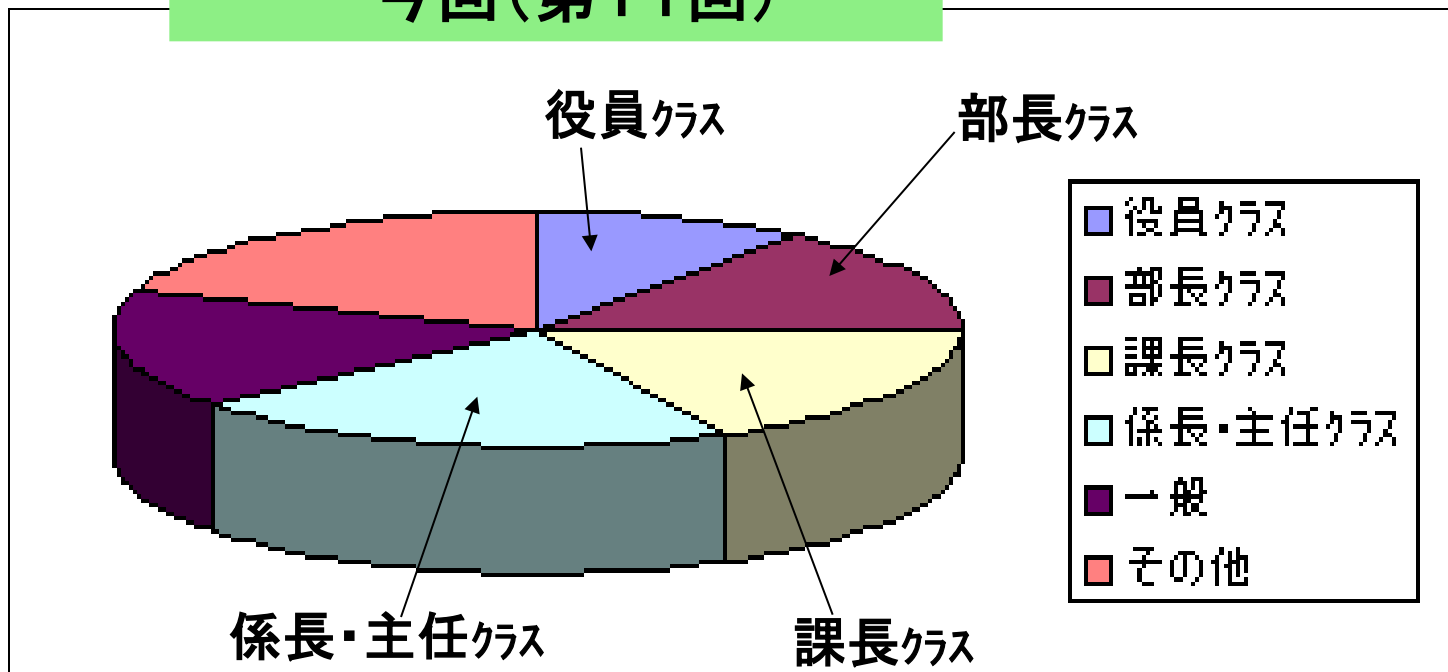
9回目



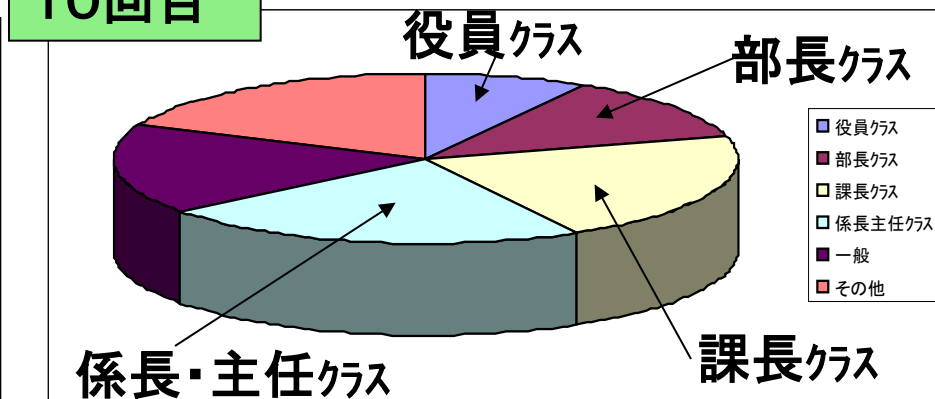
参加者のプロフィール

参加者の立場

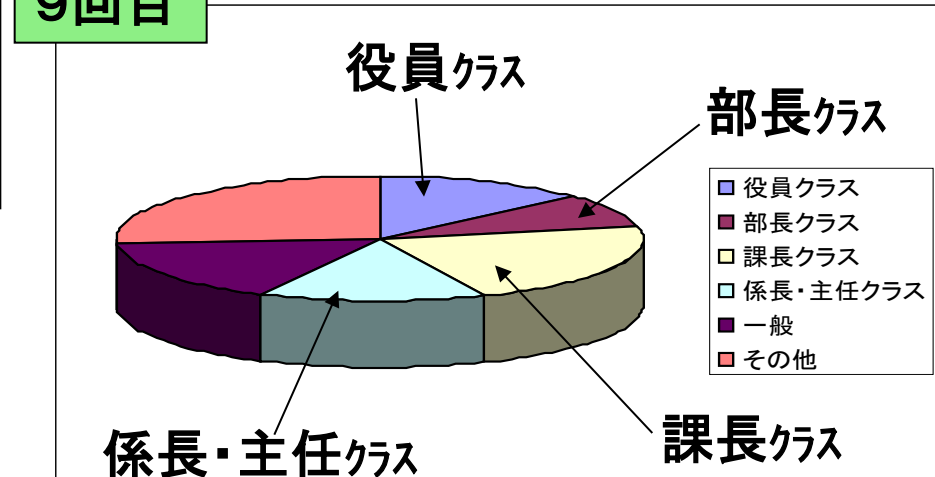
今回(第11回)



10回目

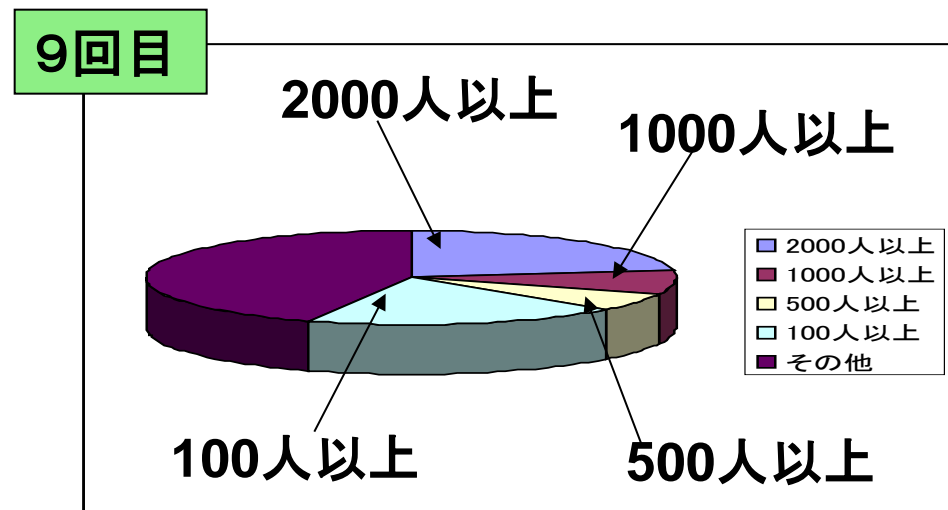
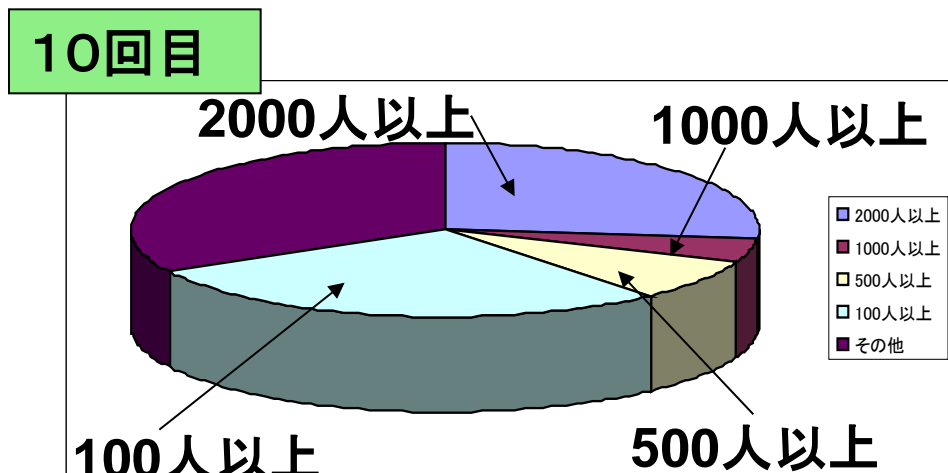
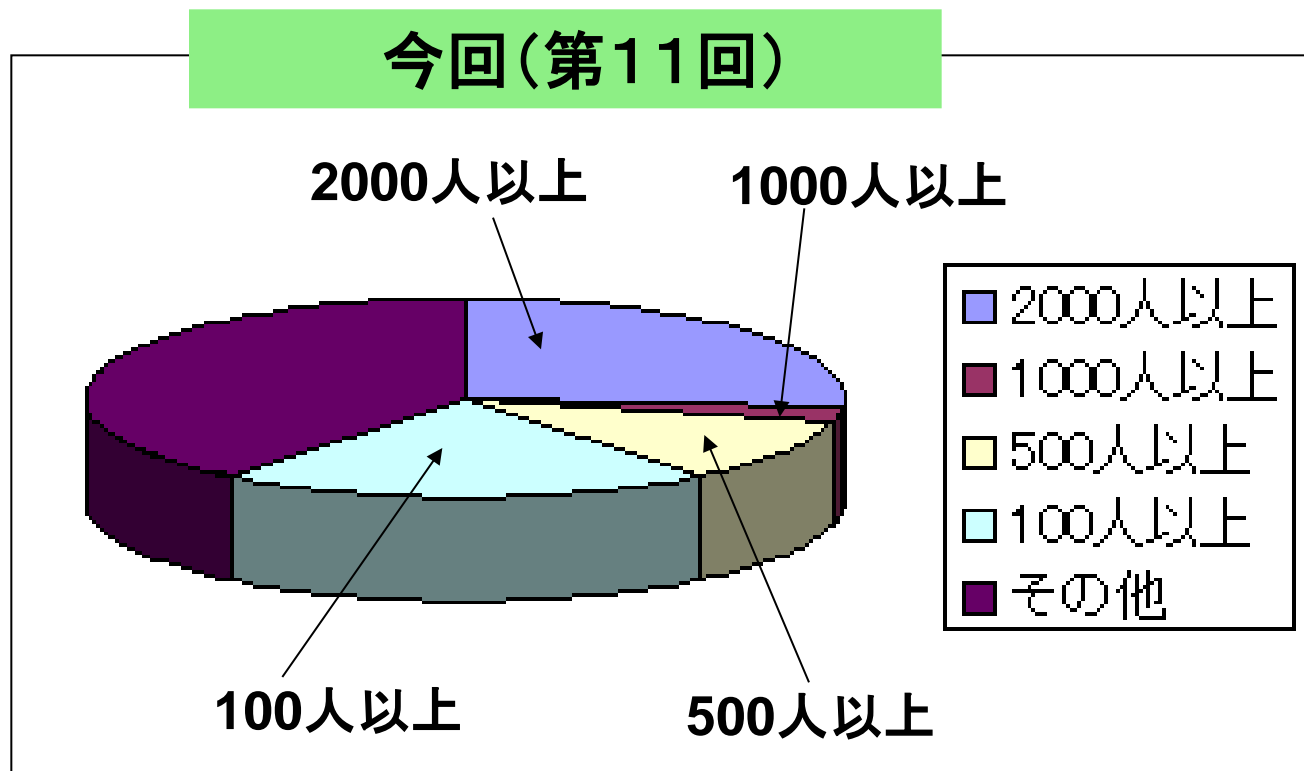


9回目



参加者のプロフィール

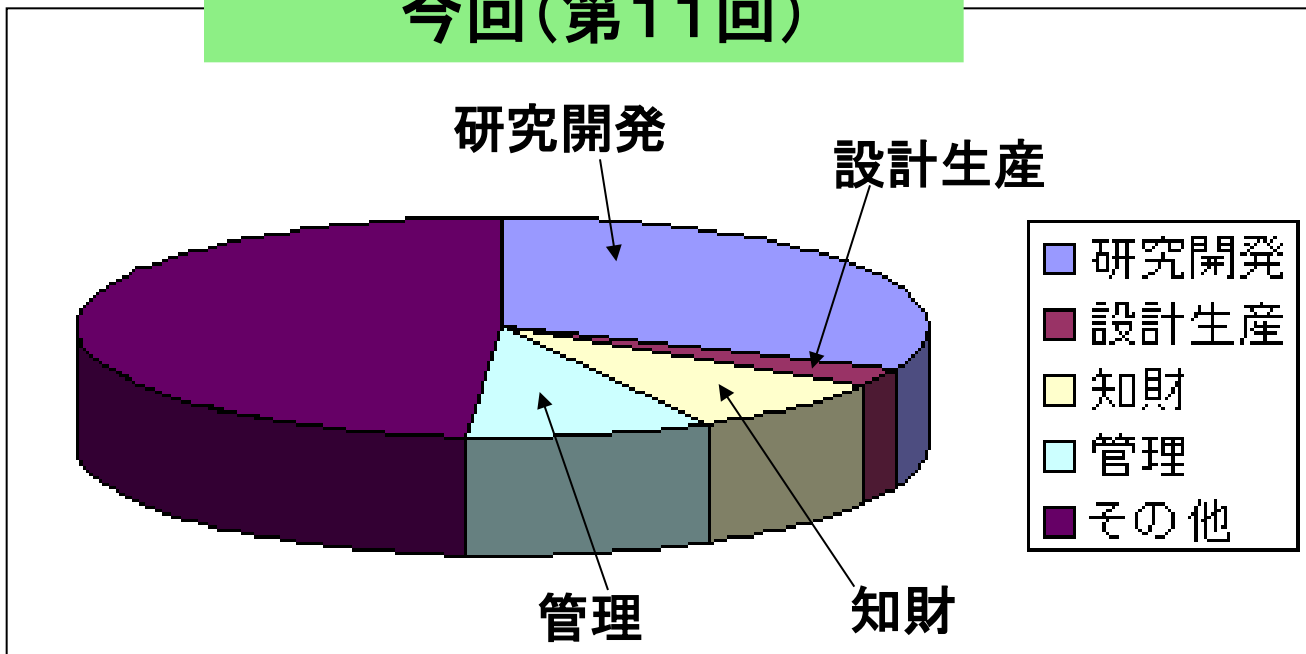
参加者の所属部門規模



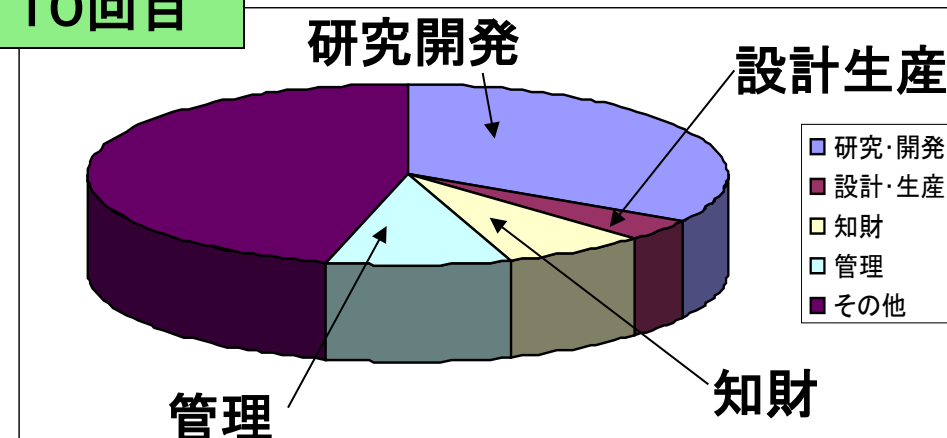
参加者のプロフィール

参加者の職種

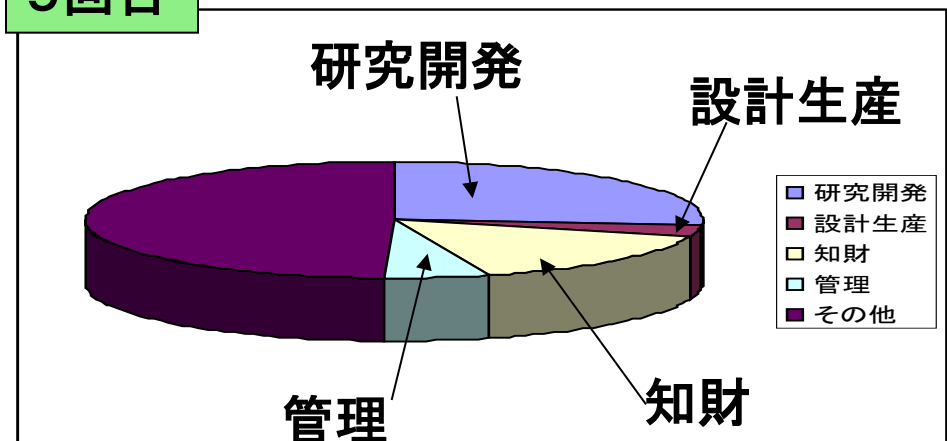
今回(第11回)



10回目



9回目



NPO法人 日本TRIZ協会 とは

2004年5月	TRIZ懇話会発足
2005年1月	日本TRIZ協議会に衣替え
2007年12月	NPO法人日本TRIZ協会発足

活動形態

会員ベースの公共的なボランティアベースの非営利法人活動

活動の目的

- 日本に於けるTRIZ普及活動のセンターとして機能する
- 我が国の技術開発力、国際競争力強化に資するため、活動をオープンで全国的なものにする
- TRIZに関心を持っている方々のより強固な結集と活動の場を継続的に提供する

★活動にご理解をいただき、是非ごいっしょに活動を！★

日本TRIZ協会の活動内容

主な活動

TRIZの普及&活用に向け

- シンポジウムの企画開催
- セミナーの企画開催
- 研究会活動
- 教育/出版のためのコンテンツの開発

上記のために以下の組織で活動

- 企画委員会：新規事業の企画立案・推進、中長期計画立案
- 技術委員会：研究会統括推進、コンテンツ開発
- 広報委員会：広報活動企画推進、HP運営、メルマガ発行
- 総務委員会：運営全般、事務局業務、会計業務
- シンポジウム実行委員会：シンポジウムの企画実行

日本TRIZ協会の研究会活動

- **知財創造研究分科会**（主査：長谷川公彦氏）
 - ・ 活動成果は、明日の午後ポスターセッションで発表
 - ・ 昨年までの成果はCD等で入手できます
- **ビジネス・経営TRIZ研究分科会**（主査：吉澤郁雄氏）
 - ・ 活動成果は、明日の午後B会場で発表
- **新しい時代の教育研究分科会**（主査：黒澤慎輔氏）
 - ・ 活動成果は、本日の午後B会場で発表 および
明日の午後ポスターセッションで発表

これらの研究会活動についての発表をお聞きになって是非ともご参加をご検討下さい。
また、上記以外にもご希望に応じて研究会を開催できます。
不明な点は協会関係者に気軽にお問い合わせ下さい。

日本TRIZ協会の活動の更なる発展に向けて

日本TRIZ協会は
 国際TRIZ協会（MATRIZ）にメンバー登録を申請し、この度メンバーとして承認されました。

私達はこれを機に、情報の収集交換を積極的に行い、TRIZの発展に寄与していきたいと思えます。



第11回TRIZシンポジウム準備&実行組織

■ シンポジウム実行委員会

実行委員長：三原 祐治

実行副委員長（兼会計担当）：津波古 和司

実行委員（事務局）：池田 理、福嶋 洋次郎

実行委員（ポスターセッション担当）：緒方隆司、福嶋 洋次郎

実行委員（スライド翻訳）：津波古 和司、小西 慶久

実行委員（広報担当）：前古 護、菊池史子、広報委員会

実行委員（資料編集担当）：志方 敬、伊沢 久隆

プログラム委員長：小西 慶久

プログラム委員：坪倉 紀子、澤口 学、有田 節男

■ 開催準備協力

ポスター&パンフレットデザイン：志方 淳子

開催準備：長谷川陽一、古謝 秀明

■ 会場設営&シンポジウム運営

TRIZ協会運営委員

（敬称略）

参加の皆さんへのお願い

- これからの発表に対して
皆さんの活発なご討論をお願いします。
- 有意義な2日間を過ごされることを
期待しています。

謝辞

今回のシンポジウム開催に際し
会場のご使用をご快諾いただき、かつ
種々のご便宜をお図りいただいた
国立オリンピック記念青少年総合センター
の関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。